

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

討議年月日:令和 5年 2月 2日

公表:令和 5年 3月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	・活動に合わせて遊戯室や広場を使用している。 ・定員は適切だが、グループ分け等で部屋が足りない時は療育後の児発センターの部屋を使用している ・基本的にはスペースあるが日によってはもう一部屋ほしい時がある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	・適切な配置数の中でお互いにカバーしながら行っているが、難しい時は無理している時もある ・利用者の人数に合わせ職員の配置数を決めている ・行動範囲が広い児がいる日は、目が届きにくい時があると感じる	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		・階段には手すりがあり、必要に応じて手すりを使って昇れている ・部屋と部屋の区切りについても段差なく、来客用玄関にはスロープもある	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		・クラス会議を行い曜日ごとに振り返りを行っている 又計画案についても話し合いがされている ・会議等で話し合ったり振り返りをする時間が取れている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		・年度末に保護者アンケートを実施し評価していただいている。その結果を基に業務改善につなげている	アンケートの結果を受け、課題や改善策を話し合い、実行に向けて検討していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・法人ホームページにて公表している ・毎年、年度末に情報公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		・第三者からの外部評価は努力義務のためまだ実施はないが、外部から見ていただく事で改善につなげやすいと感じる	・第三者委員会を組織している。今後、実施に向けて準備を進めていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・研修委員会が中心として計画を立て、全体会議で職員が研修を受けたり、個々に必要な研修を受けたりしている	・毎年新しい職員が増えるので、新スタッフに必ず受けてほしい基礎的な研修を実施する。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		・懇談、連絡帳等でやりとりしている ・支援計画を作成し懇談で保護者に伝えている ・懇談等で保護者の方の思いを聞き計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		・太田ステージを行いそれを基に取り組んでいる ・児発センターと共通したアセスメントツールを使用し、支援に取り入れている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・分担して立案を行い、共有している ・曜日ごとに活動案を出し、クラス会議で話し合い決定している	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等で計画、設定、結果を話し合い改善等行なっている ・クラス会議で振り返りを行なったり担当職員だけが考える事がないよう日々見直しを行っている ・曜日ごとのグループによって活動を分けている 	昨年度の改善点を受けて、今年度は他の事業所と連携したことで活動に広がりを持たせる事ができた。次年度についても情報交換しながら展開していきたい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇には課外活動を計画、設定を行なっている ・長期休暇中は法人内の成人の事業所へ行き作業体験をさせていたっている ・お手伝い活動を取り入れ、働く基礎を経験している ・曜日、児童によってそれぞれに合った課題を設定し、支援している 		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせて個別に対応したり、利用児一人ひとりが過ごしやすい空間作りを行なっている ・個々に合わせた支援計画を作成し活動を考え提供している ・必要な児には個別で過ごす事ができる環境を整え、提供している ・個々のねらい・目的によって活動を組み合わせながら作成している 	ねらいを明確にし、充実感を味わいながら達成できる支援の提供を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各自担当業務が重なり、打ち合わせ等の時間を持ちにくさあり業務分担を行ないスムーズに行なえるようにしている ・毎日出来ていない事もあるが役割分担はしている ・又活動内容の確認、利用者さんの確認もしている ・直前になることもあるが共有している 	その場にはいない職員と共通認識を持てるようにする為に、業務内容や打ち合わせ・振り返りの時間を改めて設定し、定期的な見直しが出来るようにしていきたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時間が異なる為、引き継ぎノートの活用や、朝礼・終礼等で共有している。 ・支援終了後に出来ない時もあるが気づいた事共有すべきことは伝えあう様にしている ・勤務終了時間が異なるため全員で共有出来ない時には朝礼・終礼で引き継ぎを行っている。 	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳で保護者に伝えている ・連絡帳に記録したり実績記録等は複数で確認するようにしている ・日々の記録は個別支援計画の目標に沿ったものをその日の連絡帳に記入している 		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回、決まった見直しの時期に評価し、達成された目標は新たな目標を設定している 	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの内容と照らし合わせている ・体を動かしたり製作等入れ込んだ活動を行なっている 	ガイドラインに沿った支援を行っているが、内容理解やねらい・目標をより明確にする為に、職員研修に盛り込んでいく
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参画している 		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報は学校のホームページで確認したり保護者からの連絡で知っている。送迎時についてはその都度電話で上司に確認し、指示を受け適切に対応している ・トラブルに対応する方法を統一して行なっている 		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに参加、報告書を他職員が読んで対応している 		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	・保育所等訪問の契約児であると情報共有が行える ・児発管が参加している ・必要に応じて情報共有を行なっている	
	24	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	・支援計画の内容や利用の際の様子を必要に応じて提供している ・移行支援会議等で共有している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	・同一事業所内の児童発達支援センターと「児童通所部門」として、相互に連携を図っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	・その機会は無いが、機会の必要性について検討していきたい	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	・児発管が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	・連絡帳等で行なっている ・送迎時や連絡帳に記入し伝えている ・又懇談時にも伝えている ・お迎えの際その日の様子を伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	・コロナが流行している間は難しいが機会を作っていけたらいいと思う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	・契約時に伝えている ・利用開始前に伝えており、変更あればその都度伝えている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	・送迎時や連絡帳、懇談で話したり伝えたりしており、すぐに返答できない場合は上司に対応をお願いしたり助言をしてもらっている ・自身で分からない・答えられない時は上司に相談している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	・保護者企画のもと、にじいろホールを使用しカフェをする際に場所の提供をしている。 ・法人内の別事業所の見学等を行っている	今後も保護者同士がつながりを持てる場を提供していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	・クラスの窓ガラスに苦情について相談窓口の電話番号など掲示している ・すぐに上司に報告し、内容をまとめたものを保護者へお伝えしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	・広報担当が行っている ・にじいろブログ等で情報発信をしている ・ブログの他に広報誌(にじいろレター)で発信している	
35	個人情報に十分注意しているか	4		・保管場所を決めたり事業所外へ持ち出さないようにして、知り得た事の取り扱いに注意している。		

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児に対しては視覚的な提示や端的な言葉等、ご本人にとって分かりやすい事を意識して行っている ・個々に応じた視覚支援を行っている。また、口頭で伝えるだけでなく文章やメモを利用している ・連絡帳等で確認している ・児童や保護者に応じて配慮を行っている 		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は事業所全体行事の開催をしていたが、コロナ禍で難しさあり 	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡先の確認を定期的な懇談時においてしている ・周知された感染症マニュアルのもと、換気・消毒・体温チェック等、徹底している ・マニュアルを作成し、口頭だけではなく資料でも確認。会議等で定期的に意識付けできるようにしている 		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている。利用時間中にはなかなか参加する機会が無いが、職員訓練を実施。長期休暇の際には利用児も一緒に訓練を行っている 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を組織し、研修や啓発等で職員への意識付けを行っている ・会議で人権について等の話し合いを行い、同一事業所の他事業スタッフとも意見交換している 	今年度より虐待防止委員会を設置している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在拘束は行っていないが、拘束をしない方法での支援を会議等で話し合ったり日々意見交換しながら考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は計画に記載する方はいないが、身体拘束にあたりそうな事柄の共有を継続して行い、保護者にも説明を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、食物アレルギーへの対応が必要な利用者がいないが、利用開始前にアレルギーの有無を保護者に必ず確認し、必要な場合には医師の指示書に基づいて対応する流れを作っている 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・同一建物内の児童発達支援センターと「児童通所」としてとりまとめ、全体会議で共有している。また、毎月の会議で過去の案件を取り上げ、未然に予測して防げるよう意識付けを行っている。 ・掲示されたヒヤリハットには必ず目を通して 	